

訂正

令和6年9月26日 16:00

令和6年9月26日

下記のとおり訂正します

【訂正箇所】 定数把握疾患報告数

報告数・定点当たり・前週比

- ・水痘 66→34・0.55→0.28・3.47→1.79
- ・手足口病 709→741・5.91→6.18・1.00→1.04

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第38週（令和6年9月16日～令和6年9月22日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- ・第38週は、梅毒の報告が23件ありました。今年の福岡県の梅毒報告数は、累積報告数（942件・速報値）が過去最高となった昨年の同時期と同様に推移しており、今後の動向に注意が必要です。
- ・梅毒は、主に性的な接触で感染し、感染した部位にしこりが出来る等、感染後の経過期間によって様々な症状が出ます。時に無症状になりながら進行するため、知らないうちに誰かにうつしてしまうこともあります。感染のリスクを減らすため、避妊具（コンドーム）を正しく使用しましょう。また、早期に抗菌薬で治療すれば完治が可能です。検査や治療が遅れると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。県内の保健所等では、梅毒等の性感染症の検査を無料・匿名で受けることができます。検査の詳細については、最寄りの保健所までお問合せください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧いただけます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	650	245	10,787
細菌性赤痢	1	2	5	58
腸管出血性大腸菌感染症	6	124	142	2,503
A型肝炎	1	8	4	107
レジオネラ症	4	50	81	1,594
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	93	41	1,497
後天性免疫不全症候群	2	42	11	700
梅毒	23	620	196	10,162
百日咳	5	86	103	1,566

### ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	471	2.38	0.97	25,985	5.28
インフルエンザ	97	0.49	1.24	2,520	0.51
RSウイルス感染症	54	0.45	0.62	1,869	0.60
咽頭結膜熱	26	0.22	1.24	923	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	516	4.30	1.01	6,500	2.08
感染性胃腸炎	405	3.38	0.97	8,990	2.87
水痘	3466	0.280.55	1.793.47	403	0.13
手足口病（警報レベル）	741709	6.185.91	1.041.00	25,143	8.03
伝染性紅斑	7	0.06	3.50	667	0.21
突発性発しん	39	0.33	0.87	865	0.28
ヘルパンギーナ	57	0.48	0.59	2,249	0.72
流行性耳下腺炎	5	0.04	0.83	136	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	8	0.01
流行性角結膜炎	2	0.08	0.22	315	0.45
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	15	0.03
無菌性髄膜炎	2	0.13	-	25	0.05
マイコプラズマ肺炎	17	1.13	0.89	675	1.41
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	6	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。